独立行政法人国際交流基金　契約監視委員会（令和 7 年度第 1 回）
議事要旨

１．日時：令和 7 年 8 月 21 日（木）　14：00～16：00

２．場所：独立行政法人国際交流基金　ホールさくら

３．出席者
（１）委員：渡邉一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、井澤めぐみ委員
（２）外務省：広報文化外交戦略課　西本外務事務官
（３）国際交流基金（JF）：古屋理事、平林監査室長、正野経理部長、河井会計課長、審議案件担当者

４．議事概要
（１）国際交流基金調達合理化計画について
資料に基づき事務局より報告。

（２）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
再委託案件 16 件、一者応札・応募案件 13 件のうち審議案件 6 件を除く 7 件について、資料に基づき事務局より報告。

（３）連続一者応札・応募案件 6 件のフォローアップ（報告）
以下の 6 契約が該当

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額（円）	担当部署
ア	令和 7～8 年度日本語能力試験模擬試験　実施（国内）及び電算処理（国内・海外）業務委託契約	共同印刷株式会社	一般競争（総合評価）	78,679,612	日本語試験センター 試験制作チーム
イ	日本語専門家等の派遣事務に関する業務委託契約（2025-2027 年度）	一般社団法人国際フレンドシップ協会	一般競争（総合評価）	99,069,291	日本語第 1 事業部 企画調整チーム
ウ	「JF にほんご e ラーニング みなと」運用・保守業務委託契約	株式会社ネットラーニング	一般競争（総合評価）	82,956,258	関西国際センター メディア開発チーム

エ	「いろどり日本語オンラインコース」運用・保守業務委託契約	株式会社ブレイン	一般競争（総合評価）	74,800,000	関西国際センター メディア開発チーム
オ	令和 7 年度日本語国際センター海外日本語教師研修に係る日本語教材購入契約（非基金制作教材）	株式会社凡人社	一般競争	4,974,147	日本語国際センター 教師研修チーム
カ	令和 7 年度被招へい者向け海外旅行保険契約	株式会社損害保険ジャパン	一般競争	12,081,790	経理部 会計課

※カの「令和 7 年度被招へい者向け海外旅行保険契約」に関しては審議案件としても選出されているため（４）個別案件の審議内で報告点検を行った。

ア. 報告のポイント：
各案件とも仕様の見直し、スケジュールの見直し等の対策を行った。一者応札の原因として、人員体制の確保困難、採算が見込めないという点が挙げられる。次回入札に向けては可能な範囲で仕様や公示期間の見直しを検討しつつ、引き続き周知に努め、新規参入の拡大に取り組んでいく。
イ. 委員からの主な発言：取組は妥当であると判断する。一者応札を避けるため、業務を分割する方法もあり得ると思料する。必要な分析を続けてほしい。

（４）個別案件（6 件）の審議
以下の 6 契約について審議

＼	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額（円）	担当部署
ア	第 56 回日本語パートナーズ派遣前研修現地語研修に係る業務委託契約	株式会社バークレーハウス	入札不調	10,505,000	日本語国際センター 教師研修チーム
イ	令和 7 年度建物火災保険契約	損保ジャパン株式会社	一般競争	1,056,040	関西国際センター 教育事業チーム
ウ	国際交流基金関西国際センターリネンサプライ及びクリーニング業務委託契約（令和 7～8 年度）	株式会社カネイ	一般競争	4,962,760	関西国際センター 教育事業チーム

エ	令和６年度次世代共創パートナーシップ事業主催（ベトナム）公演に係る舞台公演の企画制作業務委託契約	有限会社古典空間	随意契約	3,558,956	文化事業部 舞台芸術チーム
オ	報酬等支給業務補助システムの再構築にかかる要件定義及び調達支援業務	みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社	入札不調	12,320,000	日本語第１事業部 企画調整チーム
カ	令和 7 年度被招へい者向け海外旅行保険契約	株式会社損害保険ジャパン	一般競争	12,081,790	経理部 会計課

ア. 第 56 回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約

（ア） 契約内容：タイに派遣する 74 名のＮＰを対象とする派遣前研修において、現地語（タイ語）研修を実施する業務委託契約。

（イ） 抽出理由：入札不調となった原因

（ウ） 説明のポイント：業務委託の規模が大きく、一者応札となった。入札不調となった理由は、応札価格が予定価格を上回ったため。金額内訳を見ると人件費が相当に高く、予定価格の範囲に収まらなかった。人件費が高騰しているため、次回は、市場価格調査を行った上で、現状に見合った価格設定を検討する。また、説明会参加業者に聞き取り調査を行ったところ、1 者のみでの請負は規模が大きいという意見もあった。一者応札を回避するために、前広に準備を進め、複数業者を束ねて応札してもらう可能性も探りたい。

（エ） 委員からの主な発言：複数の語学学校が共同でクラスを運営するが、入札は 1 者が代表して応札する場合に再委託となるという事業の形についても検討する必要がある。

イ. 令和 7 年度建物火災保険契約

（ア）契約内容：関西国際センターの所有管理する建物、什器備品等の資産一式の不測の事故、災害などのための火災保険。

（イ）抽出理由：落札率が低い(45.8%）原因

（ウ）説明のポイント： 落札率が低い原因は、予定価格作成時、3 者の保険会社から見積を取得し、その平均が 230 万円であったが、実際の入札では予定価格よりも大幅に低い入札金額を提示した損保ジャパン株式会社とな

ったため。同者は、過去の当センターとの火災保険契約実績から、当センターの火災リスクが低いと判断し、低い金額で応札してきたと推察される。
（エ）委員からの主な発言：落雷等による少額の損害が免責となる場合に不都合なことはないか。（落雷については付保範囲に入っている旨を回答）

ウ．国際交流基金関西国際センターリネンサプライ及びクリーニング業務委託契約（令和 7～8 年度）

（ア）契約内容：宿泊棟で研修参加者が使用するリネン類をリネンサプライ業者から賃貸借し、洗浄を委託、宿泊棟のベッドパッドなどのクリーニング業務を委託。
（イ）抽出理由： 以前、地理的要因、発注単位の小ささ、リースではなく自前の寝具を利用していることなどが 1 社応札の要因とされていたが、1 社応札を回避するための取り組みがどのように行われてきたのか。
（ウ）説明のポイント： 抽出理由の発注単位が小さい理由は、シーツ等の交換・洗濯は週 1 回としており、研修生がいないときは使わない日もあるため。また、ベッドパットは年 1 回のみとしているため、発注単位規模の増加は難しい。一者応札を回避する取り組みとして、本件は競争参加資格 C 等級であったが、より多くの応札を得るために C 及び D 等級に変更した。また、業者への聞き取り調査より、新規業者が参入する際には、新しいリネンを用意する時間がかかるという情報を得たため、入札日から契約開始日を長くすることで新規参入を促す努力をした。その結果、今回の入札では新規応札者が参加し、一者応札を回避することができた。地域的要因については、インバウンドの影響で近隣にホテルが増えてきたため、リネンサプライに対応する業者も増えてくることを期待したい。
（エ）委員からの主な発言：近隣にホテルが増えてくると対応可能な業者も増えるのではないかと推測する。

エ．令和６年度次世代共創パートナーシップ事業主催（ベトナム）公演に係る舞台公演の企画制作業務委託契約

（ア）契約内容：ベトナム・フエの NP 派遣校への公演団等の派遣、ワークショップ・公演の実施に係る企画制作業務委託。
（イ）抽出理由：令和６年度次世代共創パートナーシップ事業は昨年度から 10 年にわたって実施されるプロジェクトであり、全体のビジョンにかなうものを選定しているのか。
（ウ）説明のポイント：日本語パートナーズが派遣されている学校の生徒等に、

日本語のみならず文化に触れていただくための企画である。調整員の意見を踏まえて、地方都市で実施した。日本の伝統音楽に現代的アレンジを加えている音楽グループ派遣の要望があり、専門家等に意見を伺い、候補を選定した。舞台芸術に限らず、複合的な視点を持って日本語学習者の裾野の拡大につながるように 10 年間考えていく。

（エ） 委員からの主な発言：同じ公演企画を別の国に派遣することはあるのか。現地の要望に従って派遣するということか。（各事務所の要望に対応して内容を決定する旨を回答）

オ.報酬等支給業務補助システムの再構築にかかる要件定義及び調達支援業務

（ア） 契約内容：海外へ派遣している日本語専門家等に支給する報酬や手当等の計算、旅費や経費等の申請管理等の事務の移行にあたり、後継システムの要件定義および設計構築・運用保守業者の入札支援を業務委託。

（イ） 抽出理由：入札不調となった原因

（ウ） 説明のポイント：入札不調の理由は、参加業者 2 者いずれも予定価格範囲内での入札金額の提示がなかったため。不落後、随意契約交渉を行い、みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社との契約に至った。随意契約交渉にあたっては、技術点が高く、過去にも類似の業務を行っている実績も踏まえ、同社と交渉を行った。工数を見直すことで予定価格範囲内に収めた。

（エ） 委員からの主な発言：技術点が高いほうから随意契約を進めたということで理解した。

カ.令和 7 年度被招へい者向け海外旅行保険契約

（ア） 契約内容：JF 本部、日本語国際センター（NC）並びに関西国際センター（KC）の 3 機関が、令和 7 年度に海外各国から招へいする者及び随伴する家族に付保する海外旅行保険及び付帯サービスの委託契約。

（イ） 抽出理由：前回 1 社応札となった要因(キャッシュレス対応が困難であること）に対する対応状況の確認。

（ウ） 説明のポイント：キャッシュレス対応を無くすことを検討したが、事業に影響を及ぼすため、仕様書の変更なしで入札を実施した。今回、参加を見送ったもう 1 者は競争参加資格を満たしておらず応札できなかったとの回答があった。次年度は、多くの応札を見込めるよう競争参加資格の緩和も検討していきたい。

（エ） 委員からの主な発言：資料に「一時帰国中補償」特約付帯の対応が難しいため、応札しなかったと記載がある。「一時帰国中補償」特約を付けな

い代わりに、帰国した時点で保険期間を終え、再入国すると再度保険を掛けると、応札者が増える見込みがあるのか要検討。また、説明会に参加者がなかったため、まずは説明会に参加してもらうことが必要であると考える。

以上